

デュラシール

【禁忌・禁止】

本材及びメタクリル酸系モノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

粉剤、液剤、ロート、ドロップ栓、及びスポイトからなります。

〔原材料〕 粉剤 メタクリル酸エステルポリマー、他
液剤 メタクリル酸エステルモノマー、他

〔原 理〕 本品は粉剤及び液剤を練和することにより化学重合を起こし、硬化します。

【使用目的又は効果】

本品は、仮封及び暫間用被覆冠（テンポラリークラウン、テンポラリーブリッジ）の歯科用接着充填材料として用いる。

【使用方法等】

仮封材としての使用方法

1. 筆積み法

- ①粉剤及び液剤を別々のカップに取り出します。
- ②液剤を入れたカップに筆を漬け、その後粉末のカップに入れることにより筆先に練和粒が出来ます。
- ③練和粒を窩洞に充填します。
- ④筆先をカット綿等で拭き、所望の充填が出来るまで同じ操作を繰り返します。
- ⑤充填終了後、形成します。

2. 練和法

- ①カップに液剤を入れ、その上に十分な粉剤を入れ、2～3秒練和します。
- ②練和物を窩洞に充填します。
- ③充填後、形成します。

暫間被覆冠としての使用方法

- ①歯牙形成を行う前にアルギン酸印象材で印象採得します。
- ②印象採得後に歯牙形成を行います。
- ③採得した印象内の歯牙形成部位に本品を練和して流し込みます。
- ④口腔内に印象を戻して練和物の硬化を待ちます。
- ⑤練和物が硬化した後、口腔内より印象を外し、硬化物を取り出します。
- ⑥硬化物の余剰部分をトリミングした後、暫間セメント等を硬化物内面に塗布し、歯牙に装着します。

**【使用上の注意】

〔使用注意〕

- ①口腔軟組織や皮膚に付着させたり、目に入らないように注意すること。軟組織や皮膚に付着した場合はすぐにアルコール

綿等で拭いた後、流水で洗浄すること。万一目に入った場合には、すぐに大量の流水で洗浄し、眼科医の診察を受けること。

- ②本品は他のレジン系材料（裏装材・コア材料）と結合し、除去しにくくなるがあるので、十分注意すること。
- ③使用後の筆は、直ちに筆クリーナー等で付着した本材を完全に除去・洗浄後十分乾燥させ、清潔に保管すること。
- ④本品の硬化物を研磨する際には粉塵による人体への影響を避けるために、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスク等を使用し、粉塵を吸入しないよう注意すること。
- ⑤本材を使用する際には、適切な換気（1 時間当たり数回の換気）がなされている場所で使用すること。
- ⑥液はメタクリル系で可燃性のため、火気の近くで使用したり火気の近くに置かないこと。瓶が破裂する危険があります。
- ⑦容器の蓋を外したまま放置しないこと。

〔重要な基本的注意〕

- ①本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診察を受けさせること。
- ②本材に対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある術者はプラスチック手袋、ゴム手袋等を使用し、直接素手で触れないこと。又、本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた場合は使用を中止し、医師の診断を受けること。
- ③本品については、試験による MR 安全性評価を実施していない。

【保管方法及び有効期間等】

〔保管方法〕

- ①極端に高温又は低温な場所での保管は避けて、常温にて保管すること。
- ②直射日光のあたる場所、及び火気の近くに保管しないこと。瓶が破裂する危険があります。
- ③歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

〔有効期間〕

粉剤及び液剤の容器に記載されているロット番号

（例：041120 の場合は 2020 年 4 月 11 日製造）の製造日から 3 年。〔有効期間は自己承認（輸入先製造業者データ）による。〕

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称】

製造販売業者：株式会社 茂久田商會

連絡先：https://www.mokuda.co.jp

製造業者：リライアンス社／アメリカ

Reliance Dental Mfg., LLC／USA